

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0171100266		
法人名	株式会社 サンボウ		
事業所名	グループホーム めくもりの里(せせらぎ)		
所在地	千歳市住吉4丁目8番14号		
自己評価作成日	平成 31年3月1日	評価結果市町村受理日	平成 31年 4月 12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0171100266-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	札幌市北区麻生町5丁目2-35コーポラスひかり106号
訪問調査日	平成31年3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>私達は認知症を患う方々を支援するプロとしての自覚を持ち、その人らしい暮らしが出来るよう常に工夫・創造しながら支援させていただいています。また、地域密着型事業所としての役割を理解し、地域と福祉と医療の連携を深め地域へ情報を発信し、地域資源の一つとして機能出来るよう努めています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>当事業所は高台の閑静な住宅地にある鉄筋コンクリート造り3階建て、1階、2階がグループホーム「めくもりの里」、3階は高齢者住宅グループハウス「めくもりの家」があり、利用者同士行事などを通して交流している。地域密着を掲げた理念の下、利用者、職員は地域の一人として散歩での挨拶、総会、盆踊りなどの行事に参加して地域住民と交流している。事業所行事にフラダンス同好会などのボランティアが来訪して、地域との連携を深め、地域の情報発信源になっている。また、菜園の手入れに住民のボランティアや災害時の見守り協力、町内会長が運営推進会議に参加し協力関係を築いている。職員はグループホーム絆の会と医療連携の会、合同主催の研修会に参加したり内部研修を受け、サービスの質の向上に努めている。ミーティングでは、就業環境の改善で職員各自が向上心を持ち、日々のケアに取り組む意見、提案があり、又、今後の身体拘束研修は、身体的拘束等適正化委員会を定期的に開催し、伝達研修で身体拘束をしないケアを更に学び、質の高いサービスに努める取り組みである。外出は利用者の希望を聞いて計画し、地域の夏祭り、名水公園への花見やサーモンパーク、外食、紅葉狩りなど、車イス利用者も家族、職員が協力して様々な外出支援をしている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果		項目	取り組みの成果	
	↓該当するものに○印	↓該当するものに○印		↓該当するものに○印	↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員が事業所理念を理解して共有することで実践できるようにつとめている	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を玄関やフロアー、事務所に掲示し、ケアの実践に努めている。今後は、事業所理念を基に、ケア理念の作成を検討している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事への参加やボランティアの受け入れを通じて交流をもつよう努めています	町内会に加入し、回覧板で地域の情報を得て総会に参加したり町内の夏祭りで住民と交流している。又、地域住民が事業所菜園の手入れに訪れている。暖かい季節は散歩で日常的に交流している。町内会長は運営推進会議に参加をしている。	si
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議やキャラバンメイトの開催する講座を通じて認知症に対する理解を呼びかけています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開き日々の活動を報告、話し合いでの意見をサービス向上につなげている	地域包括支援センター職員、町内会長、民生委員、家族等が参加し年6回開催している。運営や活動状況、利用者状況、研修報告などの情報交換を行い、意見や助言を得て運営に反映させている。	運営推進会議は、家族・地域の人たちが運営を見守ったり、協力者として助言するなど運営上重要な意味・役割を果たす会議として位置づけられていることへの理解を得て、地域の人や家族が更に参加しやすい取組を期待する。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要に応じて連絡をとり情報支援をし協力関係が築けるように取り組んでいる	各種届出など担当職員が窓口へ行き、事業所状況を報告し意見や助言を得ながら協力関係を築き、行政から委託運営の医療連携会とグループホーム絆の会の合同研修会に参加しながら日頃から行政などの情報を得られるよう対応に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は施錠しているが利用者様の希望により外出は自由に行っている	身体拘束ゼロを掲げて、職員は外部研修に参加して、ミーティング時伝達し、職員間で共有を図り、身体拘束に該当する行為やその弊害について理解し、身体拘束をしないケアに努めている。玄関の施錠は3階がケアハウスのため、様々な方の出入りがあるので、家族の了解を得ながら当事業所の入口のみを施錠をしている	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的にも精神的にも利用者様を傷つけないよう職員間で確認しあうなど防止に努めている		

グループホーム ぬくもりの里(せせらぎ)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修で制度を学び必要に応じ必要な方には情報提供や、それらを活用できるよう支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約担当者が十分な説明を行っている また入居後も疑問などがあれば対応できる体制をとっている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族面接の際に家族の要望や意見を出してもらえるよう配慮している	利用者の居室の表札の文字を大きくしたりわかりやすい方法を取りながら利用者や家族の要望に対応している。また、日常生活での会話から気づきを記録して、職員が共有しながら日頃の日常生活に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者はユニット会議へ参加し意見、提案、気づき等は必要に応じて運営者(代表者)に報告し反映されている	管理者は日頃から職員と話し合う機会を設け、職員から就業環境の整備や、研修報告書書式の変更などの意見・要望があり、運営に反映させている。管理者との個人面談は、年2回実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は管理者や職員の実績や個々人の能力等によって業務の内容の検討、職場環境、条件等の見直しに努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修委員をもうけて研修会等の参加の呼びかけをすると共に個々の能力やスキルに合わせた法人内外での研修を受ける事が出来るよう機会を確保している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	絆の会やちとせの地域医療連携の会へ加入し地域の同業者との意見交換やサービスについての検討が出来るよう取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談の時から入居及び入居後の不安なことを聞き対応し検討説明するようにしている 入居後は安心していただけるよう希望を聞き不安を解消できるような関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の申し込み時から困っていることを聞きとり、その不安や要望を解決していけるよう相談を重ねる中で信頼関係を築けるよう努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前の面談から相談を重ねた上でケアプランをたて一番必要な支援を見極めるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事を促進し取り組んでいただくことなどを通じて役割のある生活になるよう努めている		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様と家族様の関係を理解した上で共に支えていけるような働きかけに努めている また誕生日、行事の際は家族様に支援をお願いし一緒に支えるよう努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友達との交流がスムーズに行えるよう電話連絡もスタッフが対応し面会や外出も自由出来るようにしています	利用者の誕生日に知人と外食先で合流したり、遠方の友人と手紙の交換の継続ができるよう支援している。家族や友人の訪問を積極的に受け入れ、新たな関係の取り組みとして地域のお祭りに参加したりしながら馴染みの関係支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個人の性格を把握しトラブルになりそうな時はスタッフが介入し利用者同士が関わり合えるように努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて医療機関や他の事業所と連携をとるなど支援に努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話などから想いや希望の把握に努め申し送りや会議で検討しています	ほぼ全員が思いや意向を伝える事ができるが、利用者が伝えにくい思いについては声かけや表情から思いをくみ取り、家族からの情報を得ながら職員間で共有し思いや意向に添えるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報や日常生活の様子、ご家族からの情報をもとにスタッフ間での把握共有に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人の生活リズム、身体機能、日々の記録、申し送りで情報を共有し現状把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議の中でスタッフ全員で評価アセスメントを行い計画作成している また状況に応じて計画の見直しを行っている	介護計画は、業務日誌や利用者と家族の要望を把握し、遠方の家族とは電話で話し合いをしながら6か月毎に作成して利用者や家族の同意を得ている。また、利用者の状況の変化に応じて、随時介護計画の見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の言動も詳細に記入しスタッフ間で共有しながら介護計画も見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	突発的な要望希望に対して可能な限り対応するように努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源を把握し活用出来るものを促進出来るよう努めて支援しています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な往診や訪問看護のほか希望により受診相談など都度行っている	かかりつけ医は利用者、家族の希望を尊重しているが、協力医を主治医として月2回の訪問診療を受けて健康管理を支援している。また、歯科医は年1回の訪問検診で健康管理を支援し、皮膚科は依頼をして往診している。	

グループホーム めくもりの里(せせらぎ)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診や訪問看護、24時間連携電話にて相談助言を受け適切な受診できるよう支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携医療機関の看護師と普段より連絡相談が出来る体制が出来ている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所できることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホームとして看取り介護の定義を作成し、家族や関係者と連携をとりながら支援している	重度化や終末期については入居時に事業所の出来ることを説明し、看取り対応の段階で同意書を作成している。看取りについては在宅医療機関と連携をとりながら支援を行っている。職員も内部、外部研修に参加しながら看取りについて更に学び、支援に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルをユニットで準備しており研修などへの参加を通じて備えている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防避難訓練を行い実践に活かせるよう取り組んでいます	避難訓練を年2回、利用者、職員、地域住民の参加の下、防災設備会社職員の指導や助言を受け実施している。年2回の防災確認で消防職員の指導や助言を受けている。食料品、カセットコンロや懐中電灯の備蓄品は確保している。	事業所の災害対策マニュアルは行政のマニュアル(平成29年8月の保健福祉部通知に基づく行政からのマニュアル)を参考に作成し、消防訓練時における災害フォーム記入の工夫や、家族に向けて避難場所を明確にするなど、様々な災害に対応した体制や対応に期待する。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の人格を尊重した言葉かけをしています。申し送り時なども周囲に配慮して行っています	日々の関わりの中での言葉かけは利用者、職員の信頼関係が築かれ、職員は利用者の人格を尊重し、誇りを損ねないよう対応を心がけている。トイレ誘導時の言葉かけも近くで行い、さりげない対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望を可能な限り実践できるよう支援し選べるよう取り組んでいます		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせ生活のリズムが整えられるよう支援しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の意識を重視し本人の好むおしゃれが出来るよう支援している		

グループホーム ぬくもりの里(せせらぎ)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みを聞き食事を楽しんで頂くよう準備や片付けなどを一緒にさせて頂いています	献立は利用者の希望や体調に合わせ、食材は職員が買い物に行き、利用者と一緒に調理をしている。春には菜園で野菜を育て、収穫した野菜が食卓に彩りを添えている。毎月の行事や誕生会で外食も楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量は記録に残し健康状態に合わせた必要な支援をしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に加え起床時、就寝時にも口腔ケアをしています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりに合わせたパッド類を選択したり排泄表を使用、活用して支援を行っている	排泄チェック表等から一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導して出来るだけトイレでの自立排泄を促している。日中は布パンツ、夜間はオムツ使用など、日中・夜間帯で使い分けながら一人ひとりに沿った対応をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量や食事内容の工夫で便秘の予防に努め便秘の解消は医療機関との相談による予薬をしています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	できる限り希望を聞きながら定期的に入浴をして頂いている	週2回以上を基本としている。職員の勤務状況などで曜日の設定はしているが、利用者の希望に合わせて入浴日以外での対応や、利用者の希望する職員の介助など、一人ひとりに沿った支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの習慣に沿って自由に休息、夜も個々の時間に入床されている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの処方を知り正しく服薬ができるよう支援し変化がある時は医療関係者と連絡をとり対応しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様のできる事を見つけ小さなことでも役割として参加して頂けている		

グループホーム ぬくもりの里(せせらぎ)

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り希望に応えるように皆様での外出行事も多く実施出来るよう取り組んでいます	暖かい季節は、散歩や菜園の手入れ、買い物、家族と外食や地域の夏祭りなどに外出している。又、名水公園で花見やサーモンパーク、ドライブと趣向を凝らして、気分転換の外出支援に取り組んでいる。車イス利用者も家族と職員が協力し、外出を支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は持参されていないが本人の希望により買い物の支援を行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様から希望があれば都度スタッフ画が対応しています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	心地よく過ごせる用に季節感を取り入れたりしながら共用空間作りに努めている	リビングには大きなテーブルがあり、お好み焼きやジンギスカンパーティ、季節の飾り物の作品作りを行う作業台となり、作品は壁に飾られ一日の多くを過ごす憩いの場となっている。床暖房の共用空間は暖かく、更に加湿器で湿度を調整し、居心地よく過ごせる空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーやテーブルを配置し思い思いに過ごせる工夫をしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全面に配慮しながら個々の好みに応じた居室作りをしている	パネルヒーターとカーテンが備え付けられ、利用者は使い慣れた家具やソファー、大切にしている物を持ち込み壁に写真など飾る利用者や、机に向かう利用者の整理整頓された居室など、利用者の工夫した空間づくりとなっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご本人の意思で自由に行動できる様安心安全に配慮した環境づくりに努めている		